

第二次下野市教育大綱（案）に関するパブリックコメントの結果について

1. パブリックコメントの実施状況

(1) ご意見の募集期間

令和3年1月4日（月）～令和3年1月25日（月）

(2) ご意見の応募者数及び件数

- ・ 応募者数及び件数 1名、5件
- ・ 男女内訳 男性：1名 女性：0名
- ・ 年代内訳 80歳代：1名

(3) 提出方法の内訳

郵 送	ファクシミリ	電子メール	持 参	計
—	—	—	1	1

2. ご意見の概要と考え方

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	P 1～P 2	諸計画の関連性が分かりやすくよい。	作成にあたり、市民の皆様に分かりやすく表現することを心掛けました。
2	P 7 目指すべき方向性 1 取組方針（3）学習成果を活かした活動の支援	この取組は、講座の終了時に『はい、お疲れさまでした』ではなく、いかに講座を受講した者同志の絆を強くする働きかけをしたかということになる。館内だけの活動に留まらないことも承知で支援を考えるべきである。	毎回、講座終了時にはアンケートを実施し、受講者の学習ニーズの把握と、内容の向上に努めております。また、受講者どうしのつながりが、自主サークルの立ち上げにつながるよう支援するとともに、館外での活動に関する相談にも積極的に応じております。 今後とも、公民館等において、講座受講者や活動団体が気軽に立ち寄り、情報収集・意見交換などができる自由な交流の場の提供に努めてまいります。

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
3	P 7 目指すべき方向性 2 取組方針（2）公民館における 高齢者学級の開催	Technological Singularity(技術的特異点)を控え、この変動の激しい時代になっていることに鑑みて、高齢者にもタブレットを持たせて、子どもと同じようにAI教育をやってもらいたい。	高齢者へのタブレットの配布は検討していませんが、インターネット体験講座やパソコン愛好会によるパソコン講座など、情報化社会に対応した学びの場を提供しております。今後とも、社会教育施設等におけるICTを活用した学習の推進の機会を提供してまいります。
4	P 8 目指すべき方向性 3 取組方針（1）地域と共にある 学校づくりの推進	小学校区ごとに保護者のほか地域の自治会長や民生委員、ボランティア団体や包括支援センターなども含めて、会議体を持って話し合うことも大切と史料する。	下野市では、平成30年度より、自治会長や地域住民、ボランティア等で構成される学校運営協議会が全ての学校に設置されております。 地域住民や保護者等の参画を得た学校運営を行うためにも、この学校運営協議会の中で学校の課題解決も含めた様々な協議を行ってまいります。
5	P 8 目指すべき方向性 4 取組方針（5）自治医科大学など諸団体との連携による学習機 会の提供	自治医大の公開講座は教育委員会も関係していると思われるが、講座の組み立てや担当する教官などは大学まかせと思われる。もっと市民に向けた公衆衛生学的講座をお願いしたらいいのと思う。	自治医科大学公開講座は、自治医科大学が主催し、下野市教育委員会が共催し、開催しております。 いただいた意見については、大学側と共有してまいります。